

意見及び市の考え方

番号	意見該当箇所	ご意見の概要	市の考え方
1	第2章 スポーツの現状と課題 1 東海市の今後の課題 (2) 子どもたちのスポーツ機会の充実	小学校の部活動廃止は、子どもたちの運動不足に拍車をかける。スポーツ少年団の活動日は主に土日祝日であり、親の都合で参加できない子どもたちがいるため、名古屋市のような民間委託で週3回、興味のあるスポーツが体験できるよう取り組んでいただきたい。	小学校の部活動廃止に伴う児童のスポーツ機会の確保については、基本施策1「スポーツライフの推進」の単位施策内に「子どもたちのスポーツ機会の充実」として、地域や各種団体と連携して取り組んでいくことを方向性に示していきます。具体的な取組内容については、今後、いただいた御意見を参考に検討していきます。
2	第2章 スポーツの現状と課題 1 東海市の今後の課題 (2) 子どもたちのスポーツ機会の充実	スポーツ機会創出のため、市が主導となり中学軟式野球部を結成してほしい。学区を越えて市が運営するチームや練習機会を作っていただきたい。市がチームを結成し運営することにより、中学校のグラウンド等の公共施設を活用でき、スポーツ指導者バンクプロジェクトとも効果的に連携することができると思われる。また、市には、日本製鉄東海REXがあり、野球に注力する土壌がある。	子どもたちのスポーツ機会の創出については、基本施策1「スポーツライフの推進」の単位施策内の「子どもたちのスポーツ機会の充実」や、基本施策2「アスリート活動の推進」の単位施策「アスリートの発掘・育成」において、日本製鉄東海REXを始めとした企業スポーツチーム等と連携して取り組んでいくことを方向性に示していきます。具体的な取組内容については、今後、いただいた御意見を参考に検討していきます。
3	基本施策 スポーツライフの推進 スポーツに親しむ場の整備	働く世代は福利厚生で利用できる提携ジム等の施設が多い名古屋市や、ウェルネスに力を入れている大府市に流れていると思われるため、市内にも魅力のある事業や施設を増やしてほしい。	市内での魅力ある事業や施設については、基本施策4「スポーツに親しむ場の整備」の単位施策「身近なスポーツ環境の整備」において、民間施設や市内大学、企業が保有するスポーツ施設を含めた連携について検討していくことを示していきます。具体的な取組内容については、今後、いただいた御意見を参考に検討していきます。
4	基本施策 アスリート活動の推進	全国大会出場件数を191件から250件に増やすとのことであるが、市としてどのように支援するのか。また、どの年代、どの競技で全国大会を目指すのか。	基本施策の目標値については、特定の年代や競技に限らず、単位施策「アスリートの発掘・育成」や「アスリートの支援」における様々な事業に総合的に取り組むことで達成を目指していきます。

番号	意見該当箇所	ご意見の概要	市の考え方
5	単位施策 スポーツ施設の整備・運営	学校体育施設のスポーツ開放について、調整会議への出席やスポーツ課窓口での申請等、手間が掛かり、負担が大きいため、ウェブ申請できるシステムを早急に導入してほしい。	学校体育施設のスポーツ開放については、基本施策4「スポーツに親しむ場の整備」の単位施策「身近なスポーツ環境の整備」において、より利用しやすい運営方法の検討について方向性を示していきます。具体的な取組内容については、今後、いただいた御意見を参考に検討してまいります。
6	重点プロジェクト 2 学校のスポーツふれあい広場プロジェクト	スポーツ教室では継続的な運動とは言えない。また、土日の開催となると送迎が必要となることから、平日の活動のほうが親の負担も少ない。	具体的な取組内容については、今後、いただいた御意見を参考に検討していきます。